

交換留学報告書

派遣先	
三重大大学での所属学部・研究科	工学研究科情報工学専攻
学年(出発時)	博士前期課程1年生
大学名	ランカシャー大学
国	イギリス
留学期間	2025年9月から2026年1月
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	起床
9:00	面接(就職活動)
10:00	授業
11:00	授業
12:00	昼食
13:00	授業
14:00	授業
15:00	予習
16:00	
17:00	授業
18:00	授業
19:00	帰宅
20:00	夕食
21:00	買い物
22:00	
23:00	
0:00	就寝

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	授業内容(レポート、試験、授業形態等)
Lang & Cult of Mark & Adv AtW	3	20	英語	レポート、グループプレゼン
Globalisation:History, Theories and Approaches	3	20	英語	レポート、シミュレーション(模擬国連のようなもの)

大学のサポート	
チューターの有無	なし
チューターのサポート内容	
語学コースの有無	あり
コース名、料金、期間等	Free English Class

生活	
住居のタイプ	シェアハウス
住居の名前	Derwent Hall
部屋タイプ	
ルームメイト(国籍)	フィジー、ケニア、イギリス
室内設備	暖房、本棚、クローゼット、洗面台
共用施設	トイレ、シャワー、キッチン
インターネット設備	あり
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	徒歩(教室によるが遠くても15分以内)
アルバイトの有無	なし
アルバイトの内容	

渡航	
Visaの種類	Standard Visitor Visa
Visa申請先	なし
Visa取得にかかった日数	なし
Visa取得にかかった費用	なし
Visa取得方法、提出書類等	大使館に行くなどの必要はありませんでした。ETAの申請はスマートフォンのアプリで完結します。
留学先大学の最寄り空港までの経路	マンチェスター空港から大学の用意するバスを利用、もしくは電車でManchester Airport駅からPreston駅まで乗車
渡航費用	22万円
ピックアップサービスの有無	あり

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	おそらくなし
有る場合、その理由	
就職活動開始時期	2025年6月より
帰国後の進路	大学院を修了し、就職する予定

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	1£=205¥
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	4万円
学費(教科書代や語学コース授業料等)	なし(大学の提供する電子書籍サービスが利用可能)
宿舍費(月額)	週87ポンド
光熱費(月額)	家賃に含まれている
食費(月額)	5万円
その他	旅行や外食費などは日本より高額になります
留学期間中にかかった費用の合計	120万

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

ランカシャー大学での留学生生活は結果的に充実したものとなりました。大学院生という立場で、自分の研究と並行しながらの留学は想像以上にハードでしたが、その分だけ大きく成長できたと感じています。1セメスターのみの在学だとエンジニアリングの授業には参加できなかったのも、専門外の二つの授業に参加しました。マーケティングの授業では言語や文化が広告にどう影響するかという国際比較の視点を学び、グローバル化の授業ではグローバル化理論を深く掘り下げることができました。日本とは違い、授業中は常に発言が求められます。学生や先生と英語で議論するのは本当に大変でしたが、自分の意見を必死に伝え、それが受け入れられた時はとてもうれしかったです。

生活面について正直な感想を言うと、辛いことも多くありました。言葉の壁はもちろん、寮(フラット)での共同生活では文化の違いからルームメイトとぶつかることもありました。また、イギリスの食事は世間一般でいわれているほどそこまで悪くはないですが、外食は高く、芋ばかり食べていると体調がおかしくなった時もありました。一方で、現地の友人や先生方は私のつたない英語を根気強く聞いてくれたり、困った時に助けてくれたりと、とてもフレンドリーで優しい方々でした。辛い経験も含めて、すべてが良い思い出となっています。

今回は学部生ではなく大学院生としての留学だったため、現地の授業の課題と、日本の大学での自分の研究を両立させる必要がありました。二つのことを同時に進めるのは本当に大変でした。

最終的な英語力としてはネイティブの友人とある程度1対1で会話できる程度にはなりましたが、相手が訛りを抑えてくれたりしたうえでの会話なので、もっと勉強しなければならないと感じました。

この留学で培った国際的なコミュニケーション能力と英語力を活かし、将来は社会で国際的に活躍できる人材になりたいと強く思っています。奨学金を提供してくださった同窓会の皆様、そして手厚いサポートをしてくださった大学および国際戦略機構の皆様に、心より感謝申し上げます。

今後留学する人へのアドバイス

海外留学を検討されている方へ

英語(に限らず現地で話されている言語)はどれだけ勉強しても足りません。シャドーイングや英語のコンテンツを積極的に日常に取り入れて準備するのがおすすめです。

日本発行のクレジットカードを使うと手数料がかかるので、WiseやRevoluteなどのデビットカードを利用すると生活費を減らすことができます。

文化や習慣が違うので(ある程度相手に合わせるのも大事ですが)軋轢が生まれることもあります。本当に嫌なことは嫌といいましょう

授業では発言が求められることがあります。日本含めアジア圏の学生はずっと黙ったままで先生が困惑している場面をよく見かけました。たどたどしくても受け入れてくれるのでチャレンジ精神をもって発言してみましよう

就活と留学を両立するのは個人的には困難だと感じました。両立できるとしても友人との交流や授業がおろそかになると思うので、あまりおすすめはできません。もし就活をする必要があるのであれば早期選考の面接をオンラインで実施するかどうかや帰国後に選考を開始する企業をチェックしておきましょう。

ランカシャー大学への留学を検討する方へ

早めに電話番号付きのsimを手に入れると便利です。tescoという店の会員証が作れます。私の場合学校のIDをもらう際に「イギリスの電話番号って必要ですか?」と聞くと無料で1か月使える電話番号月のsimをいただきました。

以前の交換留学報告書に、マンチェスター空港でStandard Visitor Visaで留学する場合には入国審査なしのe-gateを通ってはいけないと記載がありましたが、空港と大学のスタッフに確認したところe-gateを使用しても問題ないとのことでした。

宿舎は個人的にはWhitendale Hallがおすすめです。

中心部へ行くとPoundstretcherやHome Bargainsという店で日用品が安く売っているなのでそこで必要なものを買えば安くて済みます。